

平成14年度 東北地方整備局の  
新規採択箇所等（政府原案）について

平成13年12月24日  
東北地方整備局

問い合わせ先

国土交通省	東北地方整備局	仙台市青葉区二日町9-15	TEL 022-225-2171
総括	：企画部	企画課長	<small>まえうち</small> 前内 永敏（内線3151）
河川関係	：河川部	河川計画課長	<small>つもり</small> 津森 貴行（内線3611）
道路関係	：道路部	道路計画第一課長	<small>もりわか</small> 森若 峰存（内線4211）
会計関係	：総務部	会計課長	<small>かわむら</small> 川村 正義（内線2411）
		仙台市青葉区花京院一丁目1-20	TEL 022-716-0001
港湾空港関係	：港湾空港部	港湾計画課長	<small>なかさき</small> 中崎 剛（内線600）

12月24日（月）、本記者発表資料の内容に関するお問い合わせは、  
17：30までとさせていただきます。

# 目 次

1 . 平成 1 4 年度 新規採択箇所等の概要	1
2 . 参考資料	
新規採択箇所等位置図	2
治水事業	3
道路事業	6
港湾空港事業	7

## 平成14年度 新規採択箇所等の概要

平成14年度予算原案が平成13年12月24日に閣議決定されました。国土交通省関係では、公共投資関係費（国費）約6兆5,520億円で、「今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針」で掲げられた重点7分野のうち、都市の再生や循環型経済社会の構築など政策効果の高い事業への重点化を強力に推進します。

そのうち東北地方整備局関係の新規採択箇所等は、以下のとおりです。

### 【治水事業関係】

#### （直轄事業）

1．洪水調節及び水資源の開発を担うダム事業について、長井ダム、摺上川ダムなど9ダムに対して、総額433億円の内示がありました。

このうち“<sup>いさわ</sup>胆沢ダムの本体基礎掘削工事”（<sup>いさわ いさわちょう</sup>岩手県胆沢郡胆沢町）  
（P3参照）

に、新たに着手します。

2．水環境が悪化している広瀬川に対して流水を補給する、

“<sup>かまふさ</sup>釜房ダムの水環境改善事業”（<sup>しばた かわさきまち</sup>宮城県柴田郡川崎町）に新規に着手します。  
（P4参照）

#### （補助事業）

3．洪水調節及び水資源の開発を担うダム事業について、浅虫ダム、木戸ダムなど20ダムに対して、総額247億円の内示がありました。

このうち“<sup>きど</sup>木戸ダムの堤体コンクリート打設”（<sup>ふたば</sup>福島県双葉郡

<sup>ならはまち</sup>檜葉町）に新たに着手します。

### 【道路事業関係】

#### （補助事業）

地域高規格道路「福島空港・あぶくま南道路」において、その一部区  
間となる“<sup>やぶきおの</sup>主要地方道矢吹小野線（延伸）”が、新規事業化箇所とな  
ります。  
（P6参照）

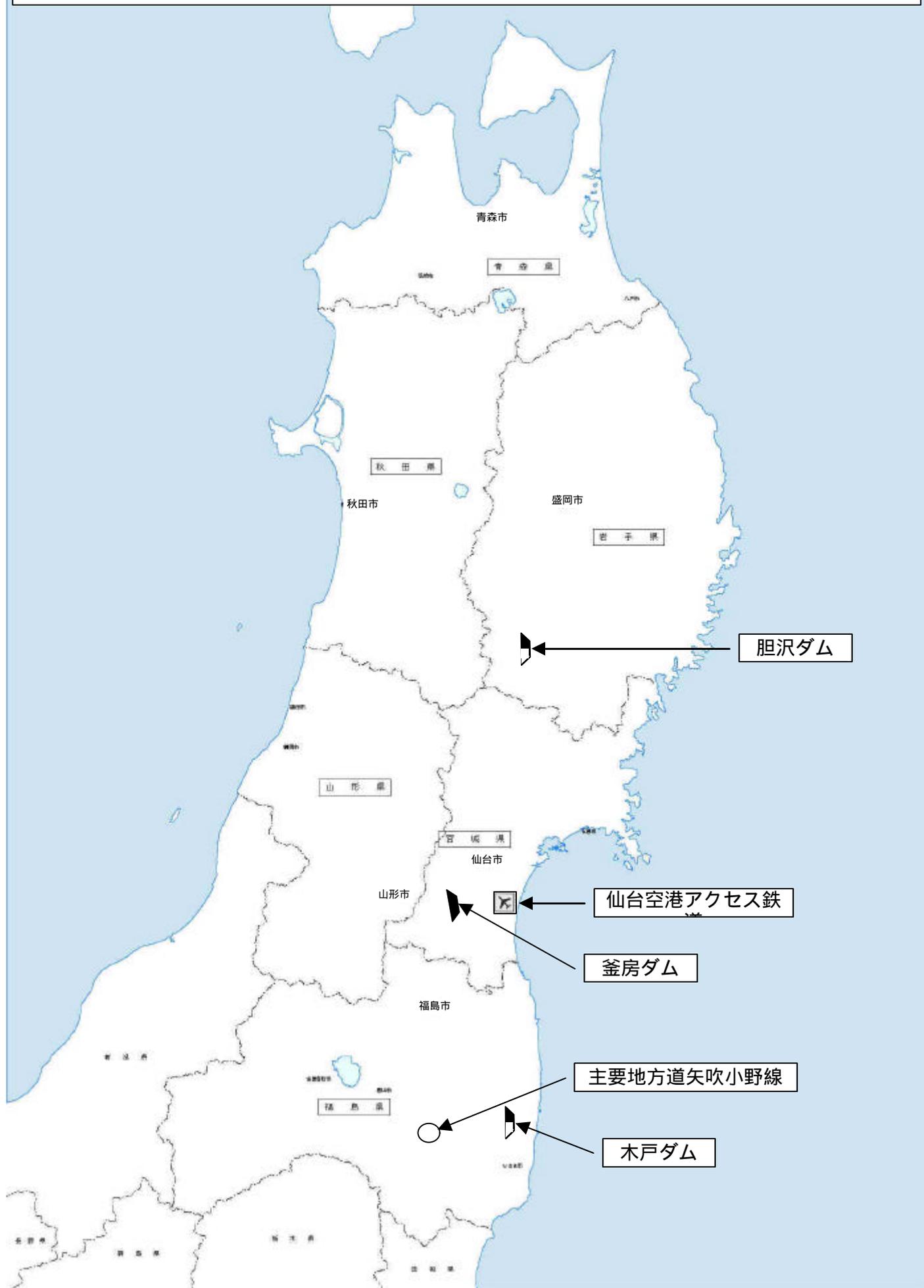
### 【港湾空港関係】

#### （直轄事業）

JR仙台駅から仙台空港まで直接乗り入れ、定時性及び速達性の向上を  
図る、“<sup>せんだいこうこう</sup>仙台空港アクセス鉄道の鉄道基盤施設整備”（宮城県  
（P7参照）

<sup>なとり いわぬま</sup>名取市・岩沼市）に本格的に着手します。

# 平成14年度 東北地方整備局の新規採択箇所等位置図



<b>事業名</b>	<sup>いさわ</sup> <b>胆沢ダム建設事業</b> （ <sup>いさわ いさわちよう</sup> 岩手県胆沢郡胆沢町）
<b>事業概要</b>	<p>北上川水系<sup>いさわ</sup>胆沢川に昭和58年度実施計画調査、昭和63年度より建設事業を進めてきたもので、平成14年度は、仮排水トンネル及び付替道路工事の進捗を図ると共に新たに本体基礎掘削工事に着手します。</p> <p>平成14年度末の事業進捗率は、26%となります。</p> <p>平成14年度実施工事  本体関連工事：(本体基礎掘削、仮排水トンネル)  付替国道工事：(付替国道397号ダムサイト迂回区間完成)</p>
<b>事業効果</b>	<p><b>北上川の浸水被害の軽減を図ります</b>  ダム地点で1,830 m<sup>3</sup>/sの洪水調節により、ダム下流の浸水被害の軽減を図ります。</p> <p><b>既得用水の安定化及び河川環境の保全等のための流量を確保します。</b>  胆沢川のダム直下で1.8 m<sup>3</sup>/s、半入橋地点で2.2 m<sup>3</sup>/sを安定的に確保することにより既得取水の安定化及び河川環境等の保全を図ります。</p> <p><b>安定した農業用水を供給します</b>  胆沢ダムを水源とする胆沢平野地区約9,650 haに対して、安定したかんがい用水の補給を行います。</p> <p><b>安定した水道用水を供給します</b>  胆江広域水道企業団（2市3町）に対して、1日最大46,800 m<sup>3</sup>の水道用水が供給可能となり、渇水時においても安定した水道水源となります。</p> <p><b>環境負荷の少ない水力発電を行います</b>  胆沢第一発電所及び<sup>いさわ</sup>胆沢第三発電所を建設し、それぞれ最大出力17,700 kw及び1,500 kwの発電を行います。</p> <div data-bbox="336 1384 1225 2011" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;"><sup>いさわ</sup><b>胆沢ダム完成予想図</b></p>

<p>事業名</p>	<p>釜房ダム水環境改善事業（宮城県柴田郡川崎町）</p>
<p>事業概要</p>	<p>釜房ダムを水源とする仙台地域は、人口100万人を超える東北最大の都市であります。急速な都市化の進展に伴い水循環が悪化しており、その改善を望む声が強く出されておりました。特に水環境が悪化している広瀬川に対して、ダム水環境改善事業でダム管理費の一部を補填できるように拡充して、釜房ダムの容量を活用し、広瀬川の水環境を改善する流量を確保します。</p> <p>なお、本事業は、新規施策による日本で初めての事業です。 （事業概要図）</p> 
<p>事業効果</p>	<p>広瀬川の流況を改善します。</p>
<p>改善前</p> 	<p>改善後（イメージ）</p> 

広瀬川の流況を改善します。

現在、代かき期、夏季の湯水期に瀬切れを起こすような状況にあります。

釜房ダムから最大0.5m<sup>3</sup>/sを補給することにより、その時期でも広瀬橋付近から下流の広瀬川の流況を改善します。

改善前



改善後（イメージ）



事業名	木戸ダム建設事業 (福島県双葉郡楢葉町)
事業概要	<p>日本有数の電源地帯である福島県双葉地方の木戸川水系木戸川に昭和58年度実施計画調査、平成3年度より建設事業を進めてきたもので、現在、ダム本体基礎掘削及び付替町道工事を実施中であり、平成14年度は堤体コンクリートの打設に着手します。</p> <p>【ダム諸元】</p> <p>型 式：重力式コンクリートダム</p> <p>高 さ：93.5m</p> <p>総貯水容量：18,470千<math>m^3</math></p>
事業効果	<p><b>木戸川の浸水被害の軽減を図ります。</b></p> <p>ダム地点で800<math>m^3/s</math>の洪水調節により、ダム下流の浸水被害の軽減を図ります。</p> <p><b>安定した水道用水を供給します。</b></p> <p>双葉地方水道企業団(5町)に対して、1日最大21,500<math>m^3</math>の水道用水が可能となり、湯水時においても安定した水道水源となります。</p> <p><b>工業用水を供給します。</b></p> <p>日本有数の電源地帯である双葉地方の工業用水道(5町)に対して、1日最大32,300<math>m^3</math>の工業用水の供給が可能となり工業用水の逼迫度の高い広野工業団地などに安定した供給を図ります。</p> <div data-bbox="427 1332 1161 1861" data-label="Image"> </div> <p>平成14年度から堤体コンクリートの打設を目指す木戸ダム</p>

平成14年度 新規事業化箇所

事業名	福島空港・あぶくま南道路 主要地方道矢吹小野線（延伸）	事業区分	主要地方道	事業主体	福島県
起終点	自：福島県石川郡平田村大字上蓬田 至：福島県田村郡小野町大字菖蒲谷	延長	4.1 km		

事業概要

福島空港・あぶくま南道路は、福島空港と東北自動車道矢吹ICと磐越自動車道小野ICを連結し、人流・物流の利便性向上を図る地域高規格道路である。

事業の目的、必要性

本工区は、福島県南部の広域幹線道路ネットワークを形成し、物流の効率化と周辺地域の連携強化を図るとともに、緊急時の代替道路の確保を図るものである。

全体事業費	155億円	計画交通量	19,000台/日
-------	-------	-------	-----------

費用便益比	B / C	総費用	総便益	基準年
1.9		185億円 事業費：152億円 維持管理費：33億円	352億円 走行時間短縮便益：332億円 走行費用減少便益：19億円 交通事故減少便益：1億円	平成14年

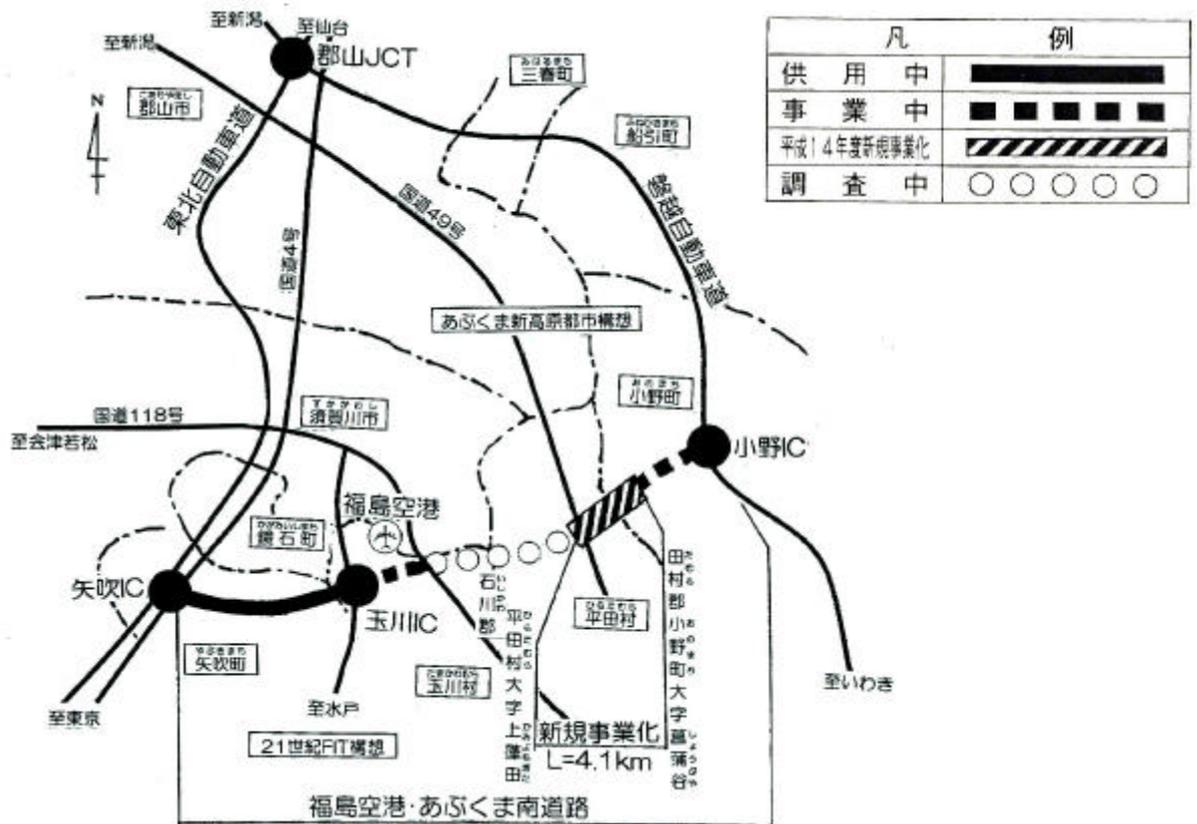
事業の効果等

- ・地域の競争条件確保のための幹線道路網の構築(地域高規格道路 福島空港・あぶくま南道路)
- ・物流効率化の支援(東北自動車道、磐越自動車道と福島空港のアクセス改善)
- ・地域づくりの支援(あぶくま新高原都市構想、21世紀FIT構想を支援)
- ・道路の防災対策・危機管理の充実(緊急時の代替機能確保)

関係する地方公共団体等の意見

福島空港・あぶくま南道路は、福島空港とのアクセス性の向上、緊急時の代替機能の確保のため不可欠な道路であることより、小野町長等関係10町6村の首長等で構成される主要地方道矢吹・小野線（トライアングル・ハイウェイ）整備促進期成同盟会より、平成13年11月16日整備促進の要望を受けている。

事業概要図



事業名	仙台空港アクセス鉄道の本格着工
-----	-----------------

事業概要	仙台空港までのアクセス手段として、JR仙台駅から空港まで直接乗り入れるアクセス鉄道を整備し、定時性及び速達性を向上させるため、アクセス鉄道の鉄道基盤施設整備に本格的に着手します。
------	---

事業効果等	
-------	--



<b>所要時間</b>	
自動車利用	40分
仙台空港線（電車）利用	
快速	短縮効果 2.3
普通	短縮効果 1.7